

経営比較分析表

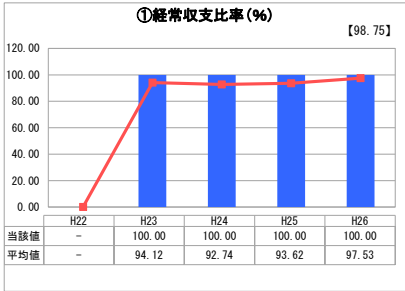
香川県 高松市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	86.57	0.04	100.00	2,571

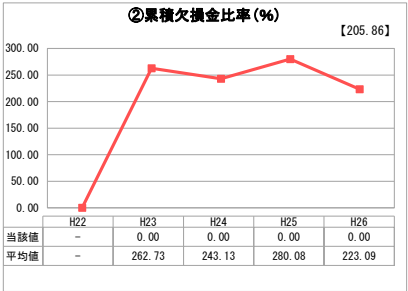
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
429,276	375.41	1,143.49
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
176	0.17	1,035.29

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

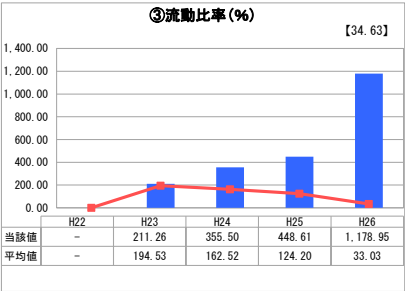
1. 経営の健全性・効率性



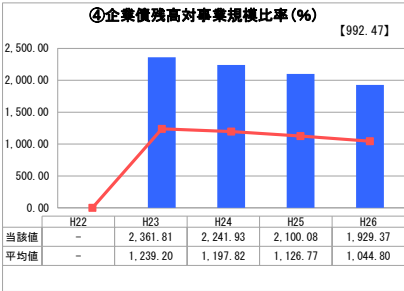
「経常損益」



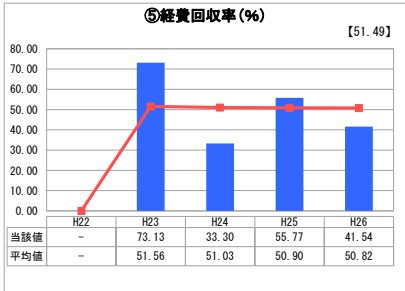
「累積欠損」



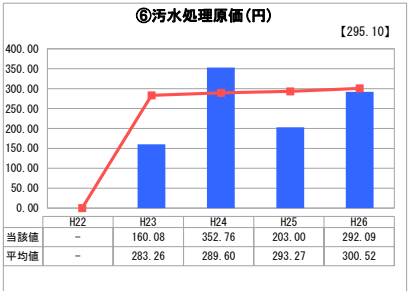
「支払能力」



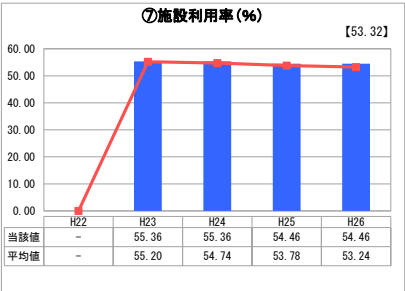
「債務残高」



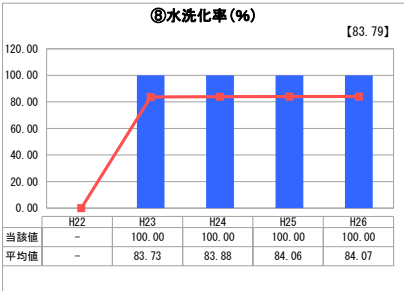
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

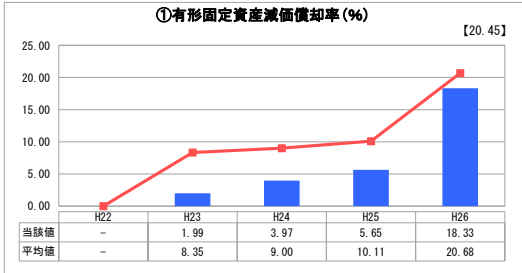


「施設の効率性」

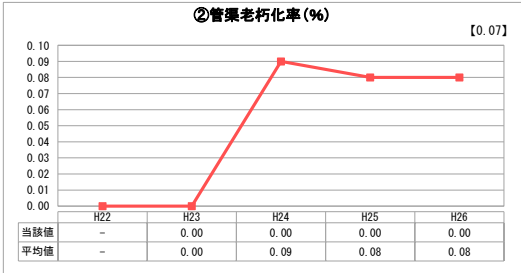


「使用料対象の捕捉」

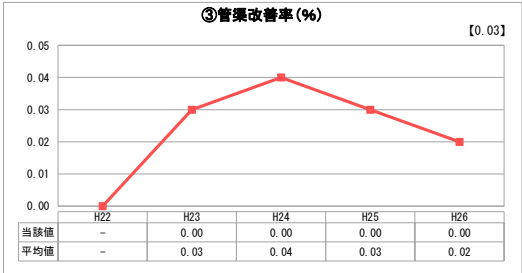
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、使用料で回収できない経費を一般会計からの繰入金を全額繰り入れて賄っていることから、比率は100%となっている。

④企業債残高対事業規模比率が高くなっている原因は、企業債残高が大きいことが原因であるが、これは本市では、繰入金を償還金に対し直接繰り入れるのではなく、償還の財源となる減価償却に対して繰り入れているため、分子となる企業債残高のうち一般会計が負担する部分が残高から減額されていないことから、他都市に比べ高い比率となっているものである。

20㎡当たりの使用料収入が3,000円に達していないため、⑤経費回収率が全国平均より若干低くなっている。

本市の経費回収率は、毎年大きく増減しており平均を大きく下回る年もあるが、これは施設等の修繕の有無により大きく左右され、同様に④汚水処理原価についても増減するものである。

公共下水道など一体的に運営していることで維持管理費などは比較的低く抑えられているが、他都市同様低い水準となっている経費回収率を将来的に向上させるため使用料確保の適正化と汚水処理原価の引き下げに努めている。

2. 老朽化の状況について

供用開始が平成7年頃と比較的新しく、管渠・施設等の法定耐用年数経過まで期間があり、管渠の傷みも少ないのが現状である。しかしマンホールポンプなど、負荷の掛かる施設においては、計画的に修繕等を行っている。

全体総括

農業集落排水事業の運営は、歳入不足であり、その不足額については、一般会計繰入金により収支をゼロとしている。

地域的に過疎の進んでいる地域のため、今後利用者数の減少も見込まれる。使用料改定等による負担増とすることによって経営状況の改善を行うことは更なる使用者数の減少を伴う恐れがあるため、現状の維持に努めていく。また、今後法定耐用年数の到来時には、事業継続も含め、経営の負担にならないあり方を検討する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。